



01



02

01. マグロ解体ショーの様子。  
02. ガラガラ抽選会。

## 紀の宝みなと市 12周年記念市を開催

多くの人でにぎわう

紀の宝みなと市 12周年記念市が12月14日、鵜殿港で開催されました。

紀の宝みなと市は、毎月第2土曜日に開催されており、新鮮な海産物や農産物、弁当、惣菜、フリーマーケットなどのお店が出店しています。

記念市では、子ども服やアクセサリ、雑貨などを並べたフリーマーケットが15店舗と、普段のみなと市より多く出店されたほか、マグロの解体ショーやお菓子の詰め放題、ガラガラ抽選会も行われました。

会場では、振る舞われたマグロをおいしそうに食べている人や、抽選会の豪華景品を目当てにガラガラを回す人の姿が見られ、とてもにぎわっていました。

Town topics  
12 / 14



03



02



01



06



05



04

## ASARI FESTA in HISETSU 2024

### ステージや一箱古本市など盛りだくさんの1日

町と飛雪の滝キャンプ場は12月1日、浅里地区で「ASARI FESTA in HISETSU 2024」を開催しました。

これは「浅里で遊びつくす」をテーマに初めて実施したイベントで、飛雪の滝キャンプ場と旧矢淵中学校浅里分校の2か所を会場にして行われました。

キャンプ場では、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」交流会、太鼓や吹奏楽、ダンスなどのステージが行われたほか、露店やフリマ、飲食ブースなどが並びました。浅里分校では、一箱古本市や木工体験のほか、歌謡曲ショー、図書館によるリサイクル本コーナーなどが実施されました。

イベントの最後にはステージで抽選会やもち・お菓子まきが行われるなど、来場者たちは浅里を舞台に盛りだくさんの1日を楽しんでいました。

Town topics  
12 / 1



07

01. 一箱古本市。02. ステージには多くの団体が出演。03. モルック交流会。04. 近畿大学附属新宮高等学校・中学校吹奏楽部の演奏。05. まあぽー&いっちゃんによる歌謡曲ショー。06. 創作太鼓紀宝楽による太鼓演奏。07. 木工体験ではブックスタンドを作りました。

## 在宅医療のあり方を考える

### 地域医療シンポジウムを開催

町地域医療研修センターは11月16日、まなびの郷で「紀宝町地域医療シンポジウム 2024」を開催しました。

順天堂大学名誉教授の樋野興夫さんが「21世紀の医療の架け橋 ～地域医療連携システムの構築～」をテーマに基調講演を行い、福井県おおい町国保名田庄診療所の中村伸一所長が『地域医療 30年で学んだ人生 100年時代の健幸学』をテーマに主講演を行いました。また、アコーディオンユニット「楽香」によるおはなしコンサートも行われました。

その後、中村所長、町地域医療研修センターの森本真之助センター長、濱口政也副センター長、一般社団法人がんサポートナース代表で町地域おこし協力隊の沼澤幸子さんによるトークセッションが行われ、地域医療のあり方について議論を深めていました。



01

01. 基調講演を行う樋野教授。  
02. 楽香による語りと演奏。



02

Town topics  
11 / 16

## 紀南シーサイドヴェロフェスタを開催

### 自転車で熊野地域を巡る

NPO法人「SPORTS PRODUCE 熊野」は12月8日、「紀南シーサイドヴェロフェスタ with KINAN Racing Team 2024」を開催しました。

これは自転車愛好者の裾野を広げ、参加者同士の交流を深め、健康で安全な地域社会づくりを推進することを目的に開催されたものです。また、JR東海ではこのイベントに合わせ、自転車を列車にそのまま持ち込むことができる「サイクルトレイン」を熊野市の有井駅から新宮市の新宮駅間で試験運行しました。

参加者たちは、御浜町中央公民館をメイン会場に、熊野市から新宮市に配置した9か所のチェックポイントを好きなルートで巡り、訪れたチェックポイントで振る舞われる地域の特産品を味わい、参加者同士で交流をしながら、サイクリングを楽しんでいました。



サイクリングを楽しむ参加者

Town topics  
12 / 8

## 縁起でもない話をしませんか? in きほう

### 老いや死について考える

町地域包括支援センターと町社会福祉協議会、紀南医師会は12月15日、まなびの郷で「縁起でもない話をしませんか? in きほう」を開催しました。

これは誰もが避けられない老いと死について理解を深め、自分らしい老いや生き(逝き)方などを考えてもらうことを目的にはじめて行われたものです。

第1部では、医療、葬儀、福祉関係者による対談が行われ、それぞれの立場から想いを伝えあいました。第2部では、納棺師によるデモンストレーション、遺言や任意後見制度に関する説明会、がんサポートナースによるワークショップが行われ、参加者たちは、普段なかなか話題にできない話に興味深く聞き入っていました。

Town topics  
12 / 15



01

01. 納棺師によるデモンストレーション。02. 「自分らしい老いや生き(逝き)方」を考えた対談。



02